

SiteMinder

Federation リリース ノート

12.52 SP1



このドキュメント（組み込みヘルプシステムおよび電子的に配布される資料を含む、以下「本ドキュメント」）は、お客様への情報提供のみを目的としたもので、日本 CA 株式会社（以下「CA」）により随時、変更または撤回されることがあります。本ドキュメントは、CA が知的財産権を有する機密情報であり、CA の事前の書面による承諾を受けずに本書の全部または一部を複製、譲渡、変更、開示、修正、複製することはできません。

本ドキュメントで言及されている CA ソフトウェア製品のライセンスを受けたユーザは、社内でユーザおよび従業員が使用する場合に限り、当該ソフトウェアに関連する本ドキュメントのコピーを妥当な部数だけ作成できます。ただし、CA のすべての著作権表示およびその説明を当該複製に添付することを条件とします。

本ドキュメントを印刷するまたはコピーを作成する上記の権利は、当該ソフトウェアのライセンスが完全に有効となっている期間内に限定されます。いかなる理由であれ、上記のライセンスが終了した場合には、お客様は本ドキュメントの全部または一部と、それらを複製したコピーのすべてを破棄したことを、CA に文書で証明する責任を負いません。

準拠法により認められる限り、CA は本ドキュメントを現状有姿のまま提供し、商品性、特定の使用目的に対する適合性、他者の権利に対して侵害のないことについて、黙示の保証も含めいかなる保証もしません。また、本ドキュメントの使用に起因して、逸失利益、投資損失、業務の中断、営業権の喪失、情報の喪失等、いかなる損害（直接損害か間接損害かを問いません）が発生しても、CA はお客様または第三者に対し責任を負いません。CA がかかる損害の発生の可能性について事前に明示に通告されていた場合も同様とします。

本ドキュメントで参照されているすべてのソフトウェア製品の使用には、該当するライセンス契約が適用され、当該ライセンス契約はこの通知の条件によっていかなる変更も行われません。

本書の制作者は CA および CA Inc. です。

「制限された権利」のもとでの提供：アメリカ合衆国政府が使用、複製、開示する場合は、FAR Sections 12.212、52.227-14 及び 52.227-19(c)(1)及び(2)、ならびに DFARS Section 252.227-7014(b)(3) または、これらの後継の条項に規定される該当する制限に従うものとします。

Copyright © 2014 CA. All rights reserved. 本書に記載されたすべての商標、商号、サービス・マークおよびロゴは、それぞれの各社に帰属します。

CA への連絡先

テクニカル サポートの詳細については、弊社テクニカル サポートの Web サイト (<http://www.ca.com/jp/support/>) をご覧ください。

マニュアルの変更点

以下のドキュメントの更新は、本書の最新のリリース以降に行われたものです。

- メタデータのエクスポート中にメタデータ ファイル名が不正 - パートナー フェデレーションには、エクスポート中にソフトウェアが生成する不正なメタデータ ファイル名に関する既知の問題があります。**CQ177331** を解決します。

目次

第 1 章: 新機能	7
r12.52 SP1 の新機能.....	7
第 2 章: 変更された機能	9
CAPKI のアップグレード	9
第 3 章: 12.51 で修正されたフェデレーションの問題	11
「Web Agent Option Pack Guide」のエージェント設定オブジェクトの注意事項が正しくない (171005)	11
ForceAuthN リクエストがセッションエラーになった後のシングル ログアウト (153740)	11
SiteMinder のアップグレード後のシステム エラー (154892)	12
Tomcat 6 の情報のドキュメントからの削除 (159125)	12
分散代行認証のクエリ文字列リダイレクトはテスト専用である (165475)	13
フェデレーションの ODBC ユーザディレクトリ設定のための前提条件 (157633)	13
smfedexport コマンド オプションに対する情報がない (155515)	14
XML シグネチャ ラッピング攻撃からの保護 (168098)	14
第 4 章: 12.52 で修正されたフェデレーションの問題	17
アサーティングパーティで認証リクエストの ACS URL が受け入れられない (170971)	17
smfedexport ツール用の decryptionkeyalias オプションが不足 (178702)	17
パスワード取得時の PS 例外 (175936)	18
GetUserProp() 関数によるポリシー サーバ作成エラー (174951)	18
SAML レスポンス エラー (172963)	19
Web エージェント オプションパック ガイドの更新 (171546)	19
アサーションに不正な受信者が選択される (171113)	20
SAML SSO エラー (169294)	20
第 5 章: 12.52 SP1 で修正されたフェデレーションの問題	21
SiteMinder フェデレーションと Microsoft Exchange Online (Office 365) の間の SSO (Office365)	21
レスポンス メッセージ内の日時スタンプの形式が正しくない (177523)	22
WS-フェデレーションの無効な SAML アサーション.....	23
WS フェデレーションのメタデータをインポートできません (55695)	23

フェデレーション内の NameQualifier 属性を設定するプロビジョニングがありません (55413)	24
オープン形式の Cookie の問題 (166765)	24
smfedexport コマンドがメタデータのエクスポートに失敗する (178747)	25
SP エンティティのフェデレーションへのインポートが失敗する (178144)	25
パートナーシップの作成時に affwebservices へのアクセスに失敗する (175380)	26
復号化されたアサーションを postAuthenticateUser() メソッドで使用可能 (175005)	26
FSS の SP 側での SAML1.1 の java.lang.ClassCastException (177920)	27
CDS キャッシュ更新時の NULL ポインタ例外 (177205)	27
エラー メッセージの変更 (176455)	28

第 6 章: ドキュメント 29

SiteMinder マニュアル選択メニュー	29
既知の問題.....	30
マニュアルのリリース番号.....	30

付録 A: サードパーティソフトウェアの使用許諾契約書 31

第 1 章: 新機能

r12.52 SP1 の新機能

このリリースに新機能はありません。

第 2 章：変更された機能

CAPKI のアップグレード

SiteMinder がアップグレードされ、CAPKI 4.3.4 を使用して、以下の OpenSSL 脆弱性を修正するようになりました。

- CVE-2014-0224: An SSL/TLS MITM の脆弱性は、OpenSSL 0.9.8y 以前に存在します。攻撃者は、注意深く作られたハンドシェイクを使用して、OpenSSL SSL/TLS クライアントおよびサーバ内の脆弱なキー材料の使用を強制できます。これは、攻撃を受けたクライアントおよびサーバからのトラフィックを攻撃者が復号化し変更することで、MITM (Man-in-the-Middle、中間者) 攻撃に悪用される場合があります。
- CVE-2014-0221 : DTLS 再帰エラーは OpenSSL 0.9.8y 以前に存在します。OpenSSL DTLS クライアントに無効な DTLS ハンドシェイクを送信してコードを再帰させることにより、DoS 攻撃のクラッシュを引き起こす場合があります。
- CVE-2014-3470 : 匿名 ECDH サービス拒否エラーは OpenSSL 0.9.8y 以前に存在します。匿名 ECDH ciphersuites を可能にする OpenSSL TLS クライアントは、サービス拒否攻撃の対象となります。
- CVE-2014-0076 : 攻撃に対する修正プログラムについては「Recovering OpenSSL ECDSA Nonces Using the FLUSH+RELOAD Cache Side-channel Attack」を参照してください。

脆弱性の詳細については、OpenSSL ドキュメントを参照してください。

第 3 章: 12.51 で修正されたフェデレーションの問題

「Web Agent Option Pack Guide」のエージェント設定オブジェクトの注意事項が正しくない(171005)

症状:

「Web Agent Option Pack Guide」に、以下の内容の不正確な注意事項が含まれています。

「注: この WebAgent.conf ファイルで参照されるエージェント設定オブジェクトは、作成する新規オブジェクトである必要があります。ご使用の環境にインストールされている、Web エージェントにより使用中のオブジェクトを指定しないでください。」

解決方法:

この注意事項はガイドから削除されました。

STAR イシュー番号 : 21419266-1

ForceAuthN リクエストがセッション エラーになった後のシングルログアウト(153740)

症状:

以下の条件を満たす場合、ポリシー サーバログにセッションエラーがレポートされます。

1. ユーザがサービス プロバイダ 1 にログインします。
2. ユーザがサービス プロバイダ 2 にログインします。サービス プロバイダは、ForceAuthN クエリ パラメータがある認証リクエストをアイデンティティ プロバイダに送信します。
3. ユーザは、いずれかのサービス プロバイダからログアウトします。

解決方法:

この問題は修正されました。セッションエラーはレポートされなくなりました。

STAR イシュー番号 : 20122645-1

SiteMinder のアップグレード後のシステム エラー(154892)

症状:

ユーザは、監査ログ内の SLO をすべて追跡する必要があります。ユーザは、/affwebservices/public/saml2slo に匿名認証方式で保護されていないレルムを設定しています。SiteMinder R12 SP3 CR2 へアップグレードする前は、この設定は機能していました。

解決方法:

この問題は修正されました。ログアウト成功のページが表示されます。

STAR イシュー番号 : 20160464;1

Tomcat 6 の情報のドキュメントからの削除(159125)

症状:

「Web エージェント オプション パック ガイド」で Tomcat 6 が誤って参照されていました。

解決方法:

「Tomcat catalina.properties ファイル (Tomcat 6.0.18 以上) を変更する」というタイトルのセクションが、「Web エージェント オプション パック ガイド」から削除されました。Tomcat 6 は、アプリケーション サーバとしてサポートされなくなりました。

STAR イシュー番号 : 21093204-01

分散代行認証のクエリ文字列リダイレクトはテスト専用である (165475)

症状:

分散代行認証のクエリ文字列リダイレクト方式に、テスト環境用専用のオプションという記述がありませんでした。

解決方法:

「パートナーシップフェデレーションガイド」に、分散代行認証機能をシングルサインオンに対して設定する場合は、実稼働環境ではクエリ文字列方式を使用してはならないという記述を追加しました。クエリ文字列リダイレクト方式は、概念実証としてテスト環境でのみ使用します。

STAR イシュー番号 : 21183744;1

フェデレーションの ODBC ユーザ ディレクトリ設定のための前提 条件(157633)

症状:

フェデレーションドキュメントでは、SAML 関連の設定用の ODBC ユーザディレクトリに正しく定義された SQL クエリ方式が必要であることを明記する必要があります。

解決方法:

以下の注記を、「レガシーフェデレーションガイド」および「パートナーシップフェデレーションガイド」のユーザディレクトリの章に追加しました。

注: フェデレーションの設定に ODBC データベースを使用するには、ユーザディレクトリとして ODBC データベースを選択する前に、SQL クエリ方式と有効な SQL クエリを設定してください。

STAR イシュー番号 : 21043182

smfedexport コマンド オプションに対する情報がない(155515)

症状:

-pubkey、-sign、-signingcertalias などの smfedexport コマンド オプションの使用方法に関する詳細な情報がありません。

解決方法:

「レガシー フェデレーションガイド」の smfedexport コマンド オプションの説明をわかりやすくしました。

STAR イシュー番号 : 20969179-01

XML シグネチャ ラッピング攻撃からの保護(168098)

悪意のあるユーザは、署名を無効にせずにドキュメントのコンテンツを変更することにより、XML シグネチャ ラッピング攻撃を実行できます。デフォルトでは、ポリシー サーバおよび Web エージェント オプションパックのソフトウェア制御には、シグネチャ ラッピング攻撃に対する防御が設定されています。ただし、サードパーティ製品は、XML 仕様に準拠しない方法で XML ドキュメントを発行できます。その結果、デフォルトの署名確認によって署名検証が失敗する場合があります。

署名検証の失敗は、以下の理由で発生します。

- 重複した ID 要素が XML ドキュメント内にあり、署名がこの重複した ID を参照している場合。重複した ID 属性は許可されていません。
- XML 署名が、想定された親要素を参照していない場合。シグネチャ ラッピングの脆弱性がログに記録されます。

フェデレーション トランザクションが失敗する場合は、署名検証の失敗に関する smtracedefault.log ファイルおよび fwstrace.log ファイルを確認します。これらのエラーは、受信した XML ドキュメントが XML 標準に準拠していないことを示す場合があります。回避策として、シグネチャ ラッピング攻撃に対するデフォルトのポリシー サーバおよび Web エージェント保護を無効にできます。

重要: 署名の脆弱性に対する保護を無効にした場合は、これらの攻撃に対する別の保護対策を決定します。

XML シグネチャ ラッピングの確認を無効にする方法

1. `xsw.properties` ファイルに移動します。このファイルは、ポリシー サーバと Web エージェントで別の場所に存在します。

- ポリシー サーバの `smtracedefault.log` ファイルでエラー メッセージが発生した場合は、`siteminder_home/config/properties` に移動します
- Web エージェントの `fwstrace.log` でエラー メッセージが発生した場合は、

`web_agent_option_pack_home/affwebservices/web-INF/classes` に移動します。

注: Web エージェント オプションパックが Web エージェントと同じシステムにインストールされている場合、このファイルは `web_agent_home` ディレクトリに存在します。

2. 以下の `xsw.properties` 設定を `true` に変更します。

- `DisableXSWCheck=true` (ポリシー サーバ設定のみ)
- `DisableUniqueIDCheck=true` (ポリシー サーバおよび Web エージェント オプションパック設定)

注: `DisableUniqueIDCheck` 設定の値は、ポリシー サーバと Web エージェント オプションパックで同じである必要があります。

3. ファイルを保存します。

STAR イシュー番号 : 21321479;1

第 4 章: 12.52 で修正されたフェデレーションの問題

アサーティングパーティで認証リクエストの ACS URL が受け入れられない(170971)

症状:

CA SiteMinder® Federation では、受信した認証リクエストのアサーションコンシューマサービス URL を受け入れず、処理していませんでした。認証リクエストにアサーションコンシューマサービス URL が定義されているかどうかをシステムは確認していませんでした。

解決方法:

IdP から SP へのパートナーシップの場合、管理 UI には [Authnrequest での ACS URL の受信] という新しいチェックボックスがあります。このチェックボックスは、パートナーシップ設定の [SSO と SLO] 手順の [SSO] セクションにあります。認証リクエスト内に URL が存在し、有効であり、メタデータにあることを確認するには、このオプションを選択します。

STAR イシュー番号 : 21361990

smfedexport ツール用の decryptionkeyalias オプションが不足(178702)

症状:

-decryptionkeyalias コマンド オプションは smfedexport コマンド オプションのリストにありませんでした。

解決方法:

-decryptionkeyalias コマンド オプションは現在、コマンド オプションテーブルにあります。

STAR イシュー : 21594883-01

パスワード取得時の PS 例外(175936)

症状:

ポリシー サーバ (FIPS のみ) は SP で開始されたリクエストの IDP 情報の検索中に以下の例外をスローしました。

パスワード取得時の例外

java.lang.SecurityException: class "com.netegrity.util.ct"'s signer 情報は同じパッケージの他のクラスの signer 情報と一致しません。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー : 21530627-01。

GetUserProp() 関数によるポリシー サーバ作成エラー(174951)

症状:

WS-FED Assertion Generation GetUserProp() 関数によりポリシー サーバエラーが発生していました。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー 21505894.

SAML レスポンス エラー(172963)

症状:

SiteMinder FSS 12.51 でフェデレーション パートナーシップの実行中に、エラー "ACS_BAD_SAMLRESPONSE_XML" が発生しました。

解決方法:

CA SiteMinder® Federation は、問題の原因である dom.jar および sax.jar ファイルの配布を停止しました。

STAR イシュー 21478695-1

Web エージェント オプション パック ガイドの更新(171546)

「Web エージェント オプション パック ガイド」に以下の更新が行われました。

- WebAgent.conf ファイルの作成 - WebAgent.conf ファイルで参照される エージェント設定オブジェクトは新規オブジェクトである必要があるという旨の注を削除しました。
- フェデレーション Web サービス用プロパティ ファイル - AgentConfigLocation 設定の説明を改訂しました。このトピックは WebLogic、WebSphere、JBOSS および Tomcat サーバに適用されます。
- FWS によって使用されるエージェント設定オブジェクト設定 - フェデレーション Web サービス アプリケーションが使用するエージェント設定について説明するセクションを追加しました。

STAR イシュー : 21429459

アサーションに不正な受信者が選択される(171113)

症状:

アサーション コンシューマ サービス URL のインデックス付きリストで、CA SiteMinder® Federation は、リストの最初のエントリが「受信者」であるアサーションを生成しました。受信者はインデックス番号と一致するのに必要です。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー 21423322-1 および 21287493-1

SAML SSO エラー(169294)

症状:

SAML SSO は "Could not parse SAML レスポンスで失敗しました。エラーメッセージ: NULL" および "ACS_BAD_SAMLRESPONSE_XML"。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー 21313265-1。

第 5 章: 12.52 SP1 で修正されたフェデレーションの問題

SiteMinder フェデレーションと Microsoft Exchange Online (Office 365) の間の SSO (Office365)

症状:

ユーザは、Office 365 の一部である Exchange Online によってホストされる電子メールアカウントにログインするために Microsoft Outlook を使用できません。アサーション署名アルゴリズムによって、認証が失敗します。

解決方法:

Microsoft によってこの問題は修正され、問題ではなくなりました。

レスポンス メッセージ内の日時スタンプの形式が正しくない (177523)

症状:

CloudMinder と同じ問題 (CQ 169860)

WIF (Windows Identity Foundation) を使用してフェデレーション用に開発されたアプリケーションと CloudMinder との間で SSO をテストしています。

CloudMinder の運用チームはこのアプリケーションとの WS-Federation パートナーシップをセットアップ済みで、CloudMinder は IDP です。

ユーザがアプリケーションに移動すると、CloudMinder にリダイレクトされます。ユーザは CloudMinder で正常に認証され、CloudMinder はユーザを WS-Federation レスポンス メッセージと一緒にアプリケーションへリダイレクトします。

アプリケーションは、レスポンス メッセージの検証に失敗します。アプリケーションは、不正な日時形式に関するエラーをスローします。

解決方法:

この問題は、CloudMinder で問題を解決することによって間接的に修正されました。

STAR イシュー

WS-フェデレーションの無効な SAML アサーション

症状：

SiteMinder と Microsoft ACS 間のフェデレーションに問題があります。ACS は XML レスポンスの順序に厳格です。これらは、以下で定義されているスキーマと一致しています。

<http://docs.oasis-open.org/security/saml/v2.0/saml-core-2.0-os.pdf#page=17>

これは、Signature 要素が Issuer の直後に出現するべきであることを示しています。

SiteMinder からキャプチャされた SAML レスポンスでは、Signature の順序は AttributeStatement の後の最後になります。

解決方法：

この問題は修正されました。

STAR イシュー： 21710666-01

WS フェデレーションのメタデータをインポートできません (55695)

症状：

SP オブジェクトのメタデータはその IDP オブジェクトとしてインポートされます。

解決方法：

この問題は修正されました。

STAR イシュー： 21696321-01

フェデレーション内の NameQualifier 属性を設定するプロビジョニングがありません(55413)

症状:

管理 UI は、パートナーシップ用の NameQualifier 属性を設定するオプションを提供しません。

解決方法:

この問題は修正されました。値が空または Null のときに NameQualifier 属性名を削除する場合は、Java VM 設定ディレクティブ `-DREMOVE_EMPTY_SAML_NAMEQUALIFIER_ATTRIBUTE=TRUE` を使用して、それを `true` に設定できます。ただし、デフォルトは `false` になります。つまり、このディレクティブが設定されなかった場合、このディレクティブは `false` に設定されます。ディレクティブが `false` の場合、NameQualifier 属性に関連付けられた値があるかどうかに関係なく、NameQualifier 属性名は NameIdentifier タグ内にあります。

STAR イシュー : 21562902-1

オープン形式の Cookie の問題(166765)

症状:

顧客は、ターゲット URL およびプロビジョニング URL に送信する大容量のデータをフェデレーションパートナーから受信します。顧客は、データ長の制限により、Cookie への格納時にデータが失われる可能性があるのではないかと懸念しています。顧客は、Cookie を使用する代わりに、データを POST 形式でターゲットアプリケーションおよびプロビジョニングアプリケーションに送信することを要求しています。

解決方法:

この変更が加えられました。

STAR イシュー 21268919;1

smfedexport コマンドがメタデータのエクスポートに失敗する (178747)

症状:

エンティティをエクスポートする場合に `-pubkey` または `-sing` オプションを指定すると、`fedexport` ユーティリティが失敗します。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー 21594883

SP エンティティのフェデレーションへのインポートが失敗する (178144)

症状:

複数のエンティティを持つ XML メタデータ ファイルから SP エンティティを SiteMinder フェデレーションにインポートしようとする場合、失敗します。メタデータには、同じエンティティ名を持つ IdP と SP の両方があります。確認画面には、SP がインポートおよび作成されたことが示されます。インポートが完了した後、SP ではなく、IdP がインポートされています。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー 21588277-1

パートナーシップの作成時に affwebservices へのアクセスに失敗する(175380)

症状:

パートナーシップの作成時に **affwebservices** へのアクセスを必要とするように指定したユーザのアクセスが拒否されます。ユーザディレクトリは **Active Directory** で、ユーザクラスは **Group** です。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー 21422866

復号化されたアサーションを postAuthenticateUser() メソッドで使用可能(175005)

症状:

復号化されたアサーションは、MCP に対する **postDisambiguateUser()** メソッドでは使用可能ですが、MCP に対する **postAuthenticateUser()** メソッドでは使用できません。顧客には、復号化されたアサーションを MCP に対する **postAuthenticateUser()** メソッドで使用可能にする要件があります。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー 21407539

FSS の SP 側での SAML1.1 の java.lang.ClassCastException (177920)

症状:

サービスプロバイダである顧客が、リダイレクトモードに永続属性を使用しています。

セッションサーバの呼び出し時に、以下の例外が smtrace ログに記録されます。

```
[09/24/2013][12:58:27][9884][8812][SamlValidator.java][smAuthenticate][][][][][][][][][][][][][][][][][][Beginning to invoke session server interface][][][12:58:27.666]
[09/24/2013][12:58:27][9884][8812][SamlValidator.java][smAuthenticate][][][][][][][][][][][][][][][][][Processing attribute data. Name: urn:mace:dir:attribute-def:mail
Value: Janet.Peri@uth.tmc.edu][][][12:58:27.666]
[09/24/2013][12:58:27][9884][8812][SamlValidator.java][smAuthenticate][][][][][][][][][][][][][][][][][SamlValidator (SAML POST/Pass 2)Caught unknown exception or error:
java.lang.ClassCastException: [Ljava.lang.String; cannot be cast to java.lang.String
- Stacktrace: java.lang.ClassCastException: [Ljava.lang.String; cannot be cast to
java.lang.Stringg
```

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー 21545080-1

CDS キャッシュ更新時の NULL ポインタ例外 (177205)

症状:

顧客から、すべての証明書キャッシュ更新間隔で証明書の NULL ポインタ例外が発生するという報告がありました。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー 21566550;1

エラーメッセージの変更(176455)

症状:

顧客から、以下のエラーメッセージを変更するよう要望がありました。

「Release is not the WA-OP - not doing anything」

解決方法:

以下のように修正しました。

「Cannot initialize; Likely caused by uninitialized NETE_WA_ROOT environment variable」

STAR イシュー 21538180

第 6 章: ドキュメント

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[SiteMinder マニュアル選択メニュー](#) (P. 29)

[既知の問題](#) (P. 30)

[マニュアルのリリース番号](#) (P. 30)

SiteMinder マニュアル選択メニュー

SiteMinder に関する詳細情報は [SiteMinder マニュアル選択メニュー](#) から参照できます。[SiteMinder マニュアル選択メニュー](#) を使用すると、以下のことを実行できます。

- 1つのコンソールを使用して [SiteMinder](#) について公開されているすべてのドキュメントを表示する。
- アルファベット順の索引を使用して、すべてのドキュメントのトピックを検索する。
- すべてのドキュメントで1つ以上の単語を検索する。

[CA テクニカルサポート サイト](#) から [SiteMinder マニュアル選択メニュー](#) を表示してダウンロードします。マニュアル選択メニューにアクセスするためにサイトにログインする必要はありません。

ドキュメントをダウンロードする予定である場合は、インストールを開始する前にダウンロードすることをお勧めします。

既知の問題

以下の SiteMinder コンポーネントの既知の問題は機密情報であり、「リリースノート」に含まれなくなりました。

- ポリシー サーバ
- Web エージェント
- SDK
- フェデレーション
- Web サービス セキュリティ
- CA SiteMinder® SPS

既知の問題を表示するには、以下の手順に従います。

1. マニュアル選択メニューのメイン ページで [リリース ノート] をクリックします。
2. [既知の問題] の [制限されたコンテンツ] をクリックし、CA Support Online にログインします。

マニュアルのリリース番号

マニュアルの表紙に記載されているリリース番号は、必ずしも現在の製品リリース番号に対応するとは限りません。しかし、製品と併せて提供されるすべてのドキュメントは、表紙に記載されているリリース番号に関係なく、その製品リリースをサポートします。

リリース番号は、新規または更新された製品のリリースをサポートするためにマニュアルが大幅に変更される場合のみ変更されます。マニュアルに実質的な変更が加えられていない場合、リリース番号は変わりません。たとえば、r12 用のマニュアルは、r12 SP1 でも有効です。マニュアルのブックシェルフは常に現在の製品リリース番号を反映しています。

場合によっては、新規または更新のリリース以外でマニュアルが更新されることもあります。サポートするすべてのリリースでマニュアルの記述が無効にならないよう、わずかな変更が施されたことを示すために、カバー ページの版番号が更新されます。最初のエディションには、エディション番号はありません。

付録 A: サードパーティソフトウェアの使用許諾契約書

SiteMinder には、サードパーティ社製のソフトウェアが組み込まれています。サードパーティソフトウェアの使用許諾契約書の詳細については、SiteMinder マニュアル選択メニューのメインページを参照してください。